

心はふるふとく 那珂川町うた

作詞 那珂川町のみなさん・工藤慎太郎
作曲 工藤慎太郎
編曲 小倉良・栗尾直樹

ひまわりの花咲く頃 裸足ではしゃぐ川遊び
那珂川を背に歩いた 夕日沈む帰りの道
心の中はふるさと 変わらない景色がある
静かに耳をすませば こだまする夏の日

もみじが色づいた頃 せせらぎ小径赤とんぼ
母の背中追いかけた 風に揺れるすすきの道
心の中はふるさと 変わらない景色がある
立ち止まり振り返れば 黄昏の秋の日

冬の夜空に指差しながら 星の輝き忘れられない
見上げるオリオンの 夢はまだ胸の中

カタクリの芽が出る頃 棚田に映る鯉のぼり
友と手を振り別れた 桜舞い散る並木の道
心の中はふるさと 変わらない景色がある
涙でまぶた閉じれば 頬伝う春の日
頬伝う春の日



町の花『かたくり』

早春に薄紫色の花を咲かせます。小さな花一つ一つが控えめな中にも美しく、群生する様は見る者に感動を与えることから、協働のまちづくりを目指す那珂川町のシンボルとしてふさわしい花です。
三輪地区に県内一を誇る群生地があります。



町の木『まつ』

常緑樹として周年、緑葉を茂らせることから若さ、不老長寿の象徴とされ、厳しい環境の中でもたくましく根を張り、力強く勇壮な姿は活力あるまちづくりを目指す那珂川町のシンボルとしてふさわしい木です。



町の鳥『うぐいす』

別名『春告鳥』と言われ、春の先駆けとして山里に賑わいと、人々に希望や喜びを与えてくれます。その姿と里山にこだまする美しい鳴き声は自然豊かな美しいまちづくりを目指す那珂川町のシンボルとしてふさわしい鳥です。

那珂川町民憲章

那珂川町は、清流那珂川と緑豊かな里山に抱かれ、美しい自然と歴史や文化が調和した町です。

わたしたちは、那珂川町民であることに誇りを持ち、やさしさと活力に満ちたまちづくりを目指し、ここに町民憲章を定めます。

- 一、自然を愛し やすらぎのあるまちをつくります
- 一、教養を深め 文化のかおり高いまちをつくります
- 一、仕事に励み 活力のあるまちをつくります
- 一、スポーツに親しみ 健康で明るいまちをつくります
- 一、互いに助けあい あたたかいまちをつくります



町章

発行日 令和5年3月
発行所 栃木県 那珂川町
〒324-0692 栃木県那須郡那珂川町馬頭555
TEL:0287-92-1111

ホームページ <http://www.town.tochigi-nakagawa.lg.jp/>
制作 (株)松井ピ・テ・オ・印刷